

 議会だより

わくわく

6月会議号
2019.8.1
No.198



『夏を楽しめ!』
(月将館小学校)

新体制で臨む初めての定例会……	〈6月会議〉	2
町政を問う4人の提言……	〈一般質問〉	7
コンプライアンスの徹底を……	〈特別委員会〉	12
企業の公害対策を評価……	〈陳情審査報告〉	14
美しい田園風景を次代に……	〈キラキラVoice〉	16

説明責任果たし、 しっかりと町を支える

6月 会議

—大泉議長の下、初の議案・予算審議—

6月
会議

大泉議長就任あいさつ



このたび、議長に就任いたしました大泉治でございます。

私は常々、議会には非常に大きな役割があると思っております。一つにはチェック機能があり、そして最も大切なことは、町が住民のために進めようとするものに対して、共に進んでいくこと、また、それらのチェックなどを通しながら、しっかりと支えていくことが役割の大切な部分であると思っております。

今般、涌谷町はかつてない、最大の危機の状態にあります。議会がしっかりとした認識と理解をもって、住民に信頼される議会となつて、この危機を乗り越えていかなくてはならないと考えております。その危機を乗り越えるために、議員各位の御協力を得ながら、私はその一翼を担わせていただきたいと思います。議長に立候補いたしました。重大な事態であることをしっかりと受け止め、大変な重責に改め

て身の引き締まる思いでございます。

最後になりますが、私は、やはり人は明るくなければならぬと思っております。町執行部、議員各位、住民の皆さまにもしっかりと説明しながら、元気を出して、みんなでこの町を押し進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

6月会議 議決結果一覧

原案可決		
報告	議案	補正予算
8件	13件	5件

一般質問	
4人(→P7へ)	

6月会議は、6月19日と20日の2日間の会期で開催され、専決処分などの報告8件、工事請負契約の締結など議案13件、令和元年度補正予算5件などを審議し、全て原案どおり可決しました。

一般質問には4人の議員が登壇し、遠藤釈雄新町長に町政全般をたずねました。

町財政の立て直しを最優先 町民の不安払拭する

— 議論重ね、町のよりよい方向性見いだす —

6
月
会
議

遠藤町長所信表明



6月会議では、5月26日の町長選挙において当選した遠藤釈雄町長が所信表明を行いました。

遠藤町長は、「大橋前町長が目指した『活力ある涌谷の町の復活』の思いを引き継ぎ、まちづくりに努める。」「町にどれほど多くの困難や行政課題があったとしても、必ず乗り越えられるものと確信している。」「今後は、決してひるむことなく、懸命の努力をもって、一日でも早くこれらの諸課題を解決して、町を安定させ、次世代の方々が誇りと自信を持つてこの町で暮らしていくことができるためのまちづくりを目指して、誠心誠意職責を果たす覚悟である。」「さまざま行政上の課題や情報をできるだけ議会や皆さまと共有する。その上で議論を重ねて、町にとってより良い方向性を見出し、町民皆さまの笑顔につなげていきたい。」と述べました。

所信表明のポイント

- ① 町財政の立て直しに軸足を置いた町政運営
 - ・基金に頼る財政構造から脱却し、収入の確保や事業の在り方、事業に係る経費の見直し。
 - ・行政サービスの低下につながらないように、適正な職員数を検討し、総枠での人件費の削減。
 - ・町の財政調整基金や減債基金などの各種基金残高の適正維持。
- ② 涌谷町国民健康保険病院の運営改善
- ③ 人材育成
 - ・役場内部での人材育成のための制度の確立。
- ④ 若い世代が定住できる環境づくり、未来を担う子どもたちのための教育環境の向上
- ⑤ 歴史遺産や産金遺跡を活かした観光事業の推進

温室効果ガス排出削減目標達成に向けて

森林環境税及び森林環境譲与税の制度が開始 カーボン・マネジメント強化事業 老朽化する施設の設備を更新

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

行財政改革の一端として、町長など特別職の給与を、令和2年3月31日までの間減額する。

減額割合

町長	↓ 20%減額
副町長	↓ 15%減額
教育長	↓ 10%減額
センター長	↓ 10%減額

通谷町森林環境整備基金条例

令和元年度から譲与される森林環境譲与税について、使途が間伐などの森林整備、人材育成や担い手の確保、木材利用の促進や啓発に関する費用に充てることとされており、これを積み立てる必要に依りて活用するため、法の規定に基づき基金を設置する。

工事請負契約の締結について（平成31年度八雲住宅3号棟外壁改修工事（長寿命化））

工事請負契約については、株式会社藤山工務店と、契約額5430万7千円で仮契約を締結。八雲住宅三号棟は平成11年に完成。外壁のひび割れや一部剥落が発生しており、早期の是正を要することから、外壁の改修工事を行い、長寿命化を図る。

主な質疑

問 最低制限価格と、落札率は。

答 最低制限価格は5100万7千円で、落札率90・5%。

問 八雲住宅の他の棟の外壁などの改修は。

答 他の棟についても20年以上の経年が経過している、ひび割れなどがある。随時、年次計画で改修していく。

令和元年度 一般会計補正予算

補正の主な内容

(歳入)

森林環境譲与税 (→ P 5 参照) 199万円
 プレミアム商品券事業に関する補助金 3601万円
 (住民税非課税者、又は3歳児未満の子を持つ世帯主を対象に、商品券販売価格2万円に対して、2万5千円の商品券が購入できる。)
 カーボン・マネジメント強化事業助成金 1億9398万円
 (天平の湯とゆうらいふの設備更新を行い、省エネルギー化、ランニングコストの削減を図る。)

(歳出)

財政再建を考える会議委員謝礼 45万円
 (自主的な財政再建を進めるにあたり、ご意見やご提案をいただくため、公募による委員で構成する「財政再建を考える会議」を設置するもの。)

健康文化複合温泉施設カーボン・マネジメント強化事業委託料 1億8749万円
 (天平の湯において、照明のLED更新、調光自動制御装置や人感センサーの導入、空冷チラーへの更新、高効率ボイラーの導入などを行う。)
 プレミアム商品券事業委託料 3716万円
 (美里町とともに遠田商工会に事業を委託。プレミアム商品券の販売については、遠田商工会を通じて、管内郵便局で販売を行う予定。)
 高齢者福祉複合施設カーボン・マネジメント強化事業 委託料1億3457万円
 (ゆうらいふにおいて、照明のLED更新、調光自動制御装置や人感センサーの導入、マルチエアコンの更新、空気循環サーキュレーターの導入、高効率ボイラーの導入などを行う。)
 保育士派遣委託料 228万円
 (さくらんぼこども園保育士の派遣委託経費。さまざまな手段を活用して募集を行ったが、応募がない状況であり、民間の派遣経費を計上するもの。)

温室効果ガス…地球大気中に放出されたとき、温室効果を引き起こす性質のある気体の総称。二酸化炭素、メタン、フロン、亜酸化窒素など。

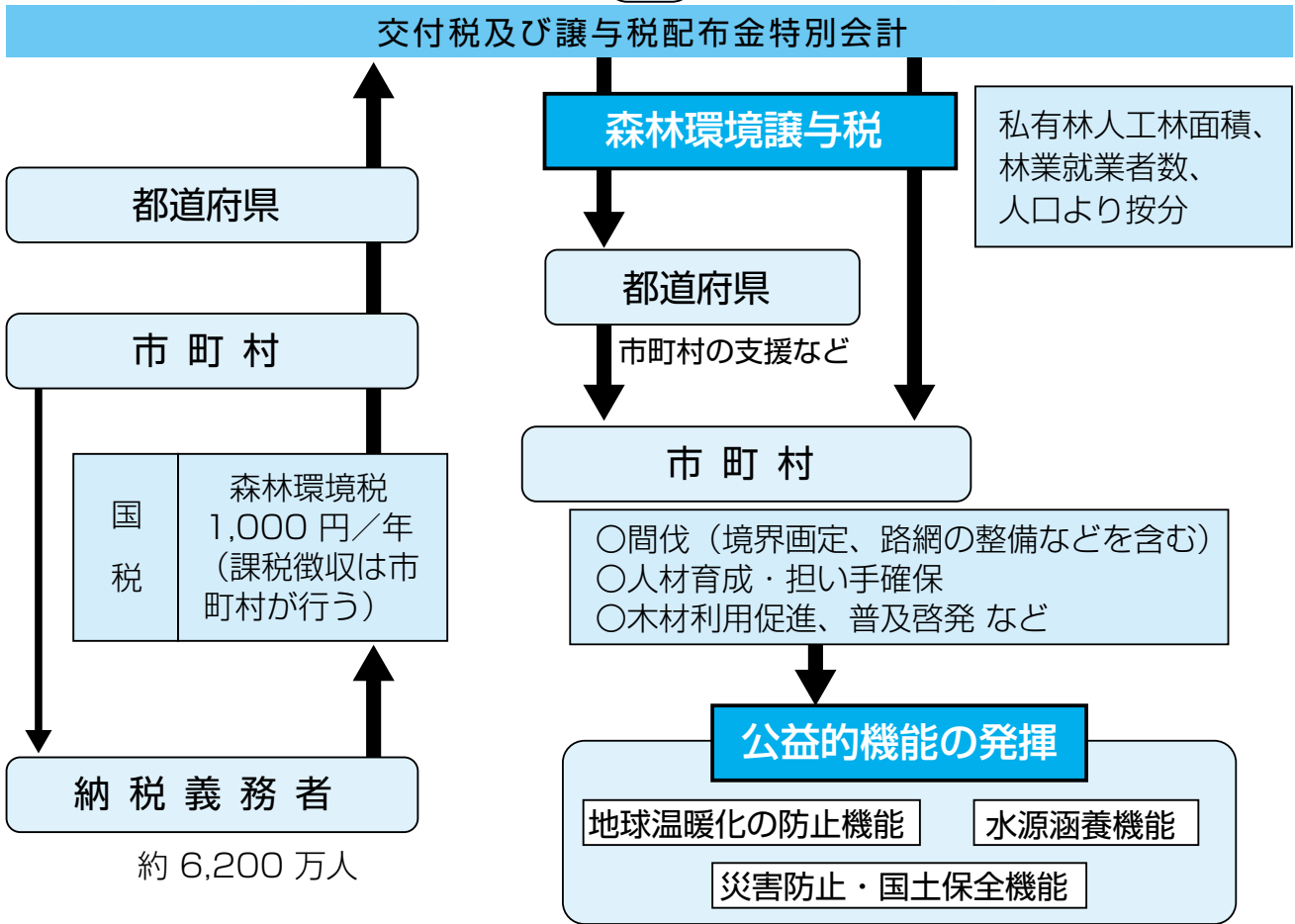
森林環境税及び森林環境譲与税の制度設計イメージ

森林整備等のために必要な費用を、国民一人ひとりが広く等しく負担を分任して森林を支える仕組み

令和6年度から施行

国

令和元年度から施行



議案審議

カーボン・マネジメント強化事業

背景・目的

気候変動の驚異に対する世界全体の取組として、国の「地球温暖化対策計画」（平成28年5月閣議決定）に基づき、地方公共団体は計画に即して「地方公共団体実行計画事務事業編」を策定し、PDCA体制を通じて公共施設などからの温室効果ガス排出の削減に努めるとされた。

事業概要

事務事業編に基づく省エネ設備等導入支援事業

（1号事業）事務事業編の強化・拡充

- ・首長をトップとした取組実行体制の整備
- ・省エネ診断などによる計画的な設備導入の促進など

公共施設（庁舎など）の新築・改築時に省エネ設備などを導入（2号事業）

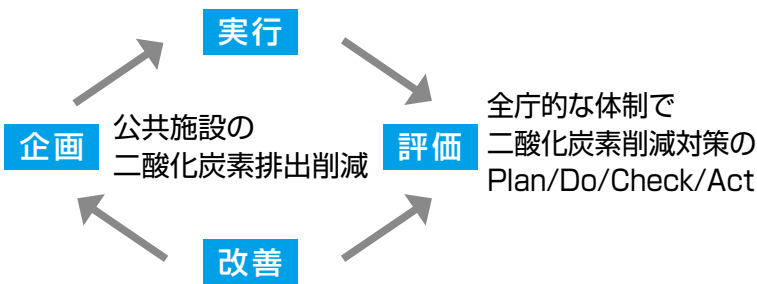
事業の経過

平成30年度は1号事業を活用し、2号事業申請基準を満たすよう、涌谷町地球温暖化計画の策定及び庁内組織体制の整備を行った。

数値目標

2030年度における温室効果ガス総排出量を2013年度比で38.6%削減する。

カーボン・マネジメントのイメージ



主な質疑

歳入

森林環境譲与税

どう使う？

問 将来を見据えて、どのようにこの税金を使っていくのか、町の考えは。

答 町内の私有林人工林の実態を踏まえて意向調査を行う。自分で経営管理を行うか、林業経営体に委託するなどがある。

個人で管理ができない場合は、町が所有者からの委託を受けて集約した後、森林組合の事業者などに再委託する。



歳出

カーボン・マネジメント強化事業の今後は？

問 今回の設備の更新によって、目標の何%の削減になるのか。今後の取り組みについては。

答 設備の更新により、ゆうらいふで年間57トン、天平の湯では年間170トンほどの二酸化炭素削減になり、目標の38・6%のうちの10%となる。

今後は庁舎内に実行推進委員会を設置し、全職員を挙げて計画を進めていく。

プレミアム商品券事業

町の役割は？

問 涌谷町と美里町の販売は遠田商工会に委託することであるが、町はどう関わっていくのか。

答 町が対象者を把握して周知し、申請

補正予算

書を上げてもらう。申請された方には引換券を送付し、その引換券を持って、プレミアム商品券を購入していただく。その販売に係る部分を遠田商工会に委託する。

保育士確保

難しい要因は？

問 保育士確保のため派遣会社を使うとのことであるが、保育士が町に集まらない要因は分析できているのか。

答 昨年度も正職員や常勤の職員が数名退職している。退職の理由の一つは他町村の小規模保育所に移りたいとのこと、小さな規模の環境で子どもと密に接したいとの話があった。

保育士は全国レベルで不足しており、学校を卒業すると東京などに一旦就職する方も多いと聞いている。

大谷地線道路改良工事 予算減額なぜ？

問 大谷地線の道路改良は地元住民の悲願であるが、工事完了時期はいつ頃になるのか。

答 用地交渉がまとまり、ようやく工事が進む環境が整ったが、国によって当初予定していた予算が減額され、橋りょうなどの長寿命化に重点的に配分された。

1日でも早く工事を進められるよう、国・県に対して改めて要望活動などを行っていく。

全国学力学習状況調査 結果の公表は？

問 全国学力テストについて、今年度の結果はまだ出ていないが、町として発表する考えはあるのか。

答 結果がどうあれ、公表する。

皆さんに知っていただいて、その後、しっかりとした対策を取りたい。

財政再建を考える会議 この時期に設置？

問 意見を広く募るのは再建計画を示した後でいいと考えるが、この事業を行う趣旨はどのようなものか。

答 財政再建計画を立てて終わりではなく、その後も継続して外部から評価していただくより多くの方のご意見を聴きながら、より具体的に、確実に財政再建を進めていきたい。



ようやく工事が進むものと思われたが…

ズバリ

6月会議では、6月19日に一般質問が行われ、4人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)
一般質問動画配信ページ QRコード



町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

一般質問

久 勉 議員 (8ページ)

- 1 財政非常事態宣言の内容を住民に説明すべきでは
- 2 日本遺産認定になった黄金山産金遺跡の活用方法は

佐々木敏雄 議員 (9ページ)

- 1 町財政の建て直しをどう進めるのか

杉浦 謙一 議員 (10ページ)

- 1 町長の基本姿勢についての考えは
- 2 みやぎ型管理運営方式で涌谷町水道事業の影響は

伊藤 雅一 議員 (11ページ)

- 1 町の財政について
- 2 町づくりについて

問

住民説明会で正確な情報周知を

答

具体的な対応策を示し、 地域に出向きたい



久 勉 議員



問

広報わくやでは、2年後に基金が枯渇すると掲載したり、今年度の基金の積立額をあまりにも低く予測していた。

実際の決算見込みでは、5千万円程度の積み立てはできるので、枯渇は考えられない。

住民説明会などを開催し、正確な情報を周知すべきではないか。

町長

財政非常事態宣言に至った経緯や要因、今後の状況を把握し、具体的な対応策が示せるようになったところで、改めて地域に出向いて説明したい。

問

予算を一律10%削減することはまさに無策である。

何に力を入れていくのか、今までどおりではなく、全ての事業について一度ゼロ査定から始めてはどうか。

町長

各課において具体的な目標を立て、それに向かって事業の見直しをしよう。町としての身の丈に合った事業の予算の組み方をしていく。



産金の歴史を今に伝える黄金山神社

問

日本遺産 黄金山産金遺跡
どうPRしていくのか

答

地域活性化や
交流人口増加につなげる

問

日本遺産に認定された黄金山産金遺跡の活用方法として、どのようにPRをしていくのか。

町長

日本の金を代表するロマンあふれる地域と認定いただけよう、地域活性化や交流人口増加につながる情報発信を展開していく。

問

JRの新幹線や在来線の駅146駅へのポスターの掲示、缶バッジ・ピンバッジ・クリアファイルなどの作成は町独自でも行うべきである。イベントとして認定記念展示や、講演会の企画をすべきでは。

町長

世界農業遺産の例を踏まえ、今後立ち上げる協議会の中で、提案を反映させていく。

問

文化財保護班が中心となって担当してきたが、これからは観光行政として、担当部署を変更すべきでは。

町長

現段階では職員の人的配置などについて、まだ十分把握していないので、今後検討する。

問 財政再建大綱の主な内容は。

町長 基本理念は「地域の発展や住民の幸福度の向上のため、必要な経営資源を効果的・効率的に活用し、財政再建を果たす」ことである。

問 財政再建の実施計画の時期は。

町長 9月末までに策定予定である。

問 平成30年度の病院事業への繰り出し額は4億1169万9千円である。財政非常事態宣言を発する前の資料は、6億2669万9千円だった。この差、2億1500万円は、一時借入金か。

総務管理課長 3月末の時点では

1億9千万円の一時借入金が残っていたが、5月に返済した。

問 一時借入金の予算は、3月補正で2億5千万円、今年度当初で3億円と増えているが、一時借入金の借り換えを重ね債務が累積し、破綻した自治体の例もある。

町長 町長は定期的に病院事業の実績、運営状況の報告を受け、実態把握に努力すべきである。

町長 常に国保病院に足を運び、さまざまな方々とお会いして状況を把握していく。

問 基本方針に人材の育成とあるが、嘱託職員を公営企業の主要なポストに据えている現実がある。採用条件や手続きに何ら問題はないのか。遠藤町長は直接関わっていないが、現実を捉え、法例を遵守した任用をすべきでは。

総務管理課長 4月から

民間の経験を持つ人材を事務長として迎え、主要ポストについてもらっている。制度的にも問題はない。

問 「協働のまちづくりの推進」で委員を公募するが、緊急性を持って、1日でも早く非常事態を脱却する実施計画の策定が先決ではないか。

町長 具体的に実行すべきことが出てきた段階で、皆さまと相談しながら行動に移していく。



国保病院の状況を常に把握し、経営を安定させることが重要

一般質問



佐々木敏雄議員



問 町財政の建て直しをどう進めるのか

答 経営資源を効果的・効率的に活用し再建を果たす

問 産業振興対策に力を注ぐべきでは

答 地域の現状を踏まえ、国や県の事業を積極的に活用する

問 町づくりとして、農業などの産業振興対策に力を注ぐべきと考えるが。

問 国の自由化政策が、特に地方農村部を疲弊させてきているが、町長の見方と対策は。

町長 今年度当初予算における農林水産業費は、約3億3300万円である。今後も地域の現状を踏まえながら、国や県の事業を積極的に活用し、産業振興に努めていく。

町長 将来、TPP（環太平洋経済連携協定）の影響により、食糧自給率の低下が心配され、これに対応するためには輸出する日本の農産物の競争力の強化が必要になってくる。このことから推測すれば、労働力を確保し、質の良い農産物の大量生産が必要になると考えられる。

今後は農業の重要性をさらに訴えながら、労働力の確保に向けて、国、県、JAなどと協力し、具体的に対応していきたい。

問 現在の財政状態は。

町長 ここ数年、基金を取り崩して財源を賄ってきたが、今のうちからその対策を講じる必要があると考えている。

問 財政状態は年ごとに悪化の傾向にあるように理解するが、主な原因はどこにあると見ているのか。

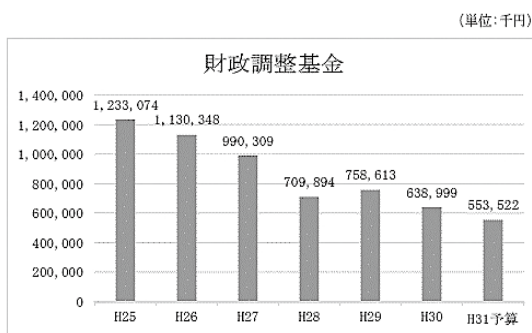
町長 財政を圧迫する要因としては、国保病院についての繰出金の部分、人口減少による自主財源の伸び悩み、町独自の事業の肥大化などがある。事業の見直しの検討が必要と考えている。

問 すでに対策には取り組まれていると考えるが、今後の対策の見通しは。

町長 経費の削減については通知し実行済みであるが、その他の具体策については9月までに策定を予定している財政再建計画により示していきたい。



低温が続いた6～7月 梅雨明けはいつ？



財政調整基金残高の推移 (財政再建大綱から)



伊藤雅一 議員



問 財政再建 今後の対策は

答 具体策を9月までに示したい

コンプライアンス意識徹底し 住民から信頼される業務を

6月会議において、公金紛失及び不適切な事務処理に関する調査特別委員会の報告書が議長に提出されました。

調査特別委員会は「平成29年7月に起きた事件に係る初期対応が不適切であったことが、全ての事件の原因」であるとし、その際、職員の判断を誤らせた最大の要因は「長年に及ぶ過大・過小収納金が留保されていたこと」に起因するものと結論づけました。

今後の対策として、過大・過小収納金の発生を防ぐ体制づくりや、町当局がまとめた「公金取扱マニュアル」の遵守、事務処理におけるPDCAサイクルの実践などを挙げました。

事件を二度と起こさないよう、コンプライアンス意識の徹底を図り、職員間の信頼関係を取り戻し業務に専念することで、住民の信頼につなげてもらいたいとまとめました。

公金紛失事件の経過

日時・内容	日時・内容
<p>平成29年7月3日 16時30分過ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジスター精算において、レジスターの集計額と納入済通知書の集計額は一致していたが、レジスターの現金140,000円が不足していることが発覚した。 ・レジスターのレシートと納入済書を確認したところ、1人の納税者が不足額と同額の支払いをしたことを確認した。 ・数年にわたり保管していた過大収納金の当日時点で保有していた105,417円を補填、不足分は会計管理者が30,000円、会計班長が4,583円を補填した。 	<p>平成30年3月7日 13時20分頃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・涌谷幹部交番の警察官3名、遠田警察署刑事課の警察官2名が来庁し、会計管理者が状況説明を行った。
<p>平成30年3月6日 16時30分過ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジスター精算において、レジスターの集計額と納入済通知書の集計額は一致していたが、レジスターの現金171,000円が不足していることが発覚した。 ・レジスターのレシートと納入済書を確認したところ、1人の納税者が不足額と同額の支払いをしたことを確認した。 	<p>平成30年9月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算審査特別委員会において、紛失した事案の処理方法などについて質問を受け、紛失事案の経緯を説明した。
<p>平成30年3月7日 9時頃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計管理者、税務課長が副町長、総務課長に3月6日の事案及び昨年7月にも同様の事案があった旨を報告し、再度探して見つからないときは盗難の被害届を出すよう指示を受ける。副町長はその旨を町長に報告した。 	<p>平成30年9月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月3日の公金紛失に係る盗難の被害届を遠田警察署に提出した。
	<p>平成30年10月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町に対し、決算認定議案の誤りを踏まえ、決算の修正を行い、決算再認定の手続を行うとともに、決算に係る既決補正予算の減額を行うよう意見書を提出し、受理される。
	<p>平成30年11月15日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月22日の意見書を受け、涌谷町議会定例会11月会議において、平成29年度涌谷町一般会計歳入歳出決算について、再認定された。

平成29年度決算及び平成30年度補正予算処理の不備

紛失金は本来平成29年度の決算で処理すべきところであったが、現金に対する決算と

の誤った認識に基づき、平成30年度の予算で処理した。

初期対応の不適切な処理 事件の根本

職員の判断誤らせた

長年の過大・過小収納金留保が最大要因

委員会まとめ（抜粋）

調査の結果、職員の公金管理に対する重要性の認識や責任感、いわゆる、コンプライアンス意識の欠如が見られた。

平成29年7月に起きた事件の初期対応の不適切な処理が、全ての事件の原因と見られるが、職員の判断を誤らせた最大の要因は、長年に及ぶ過大又は過少収納金が留保されていたことに起因するものと推測できる。このことが、第二の事件、平成29年度決算書への誤った計上の仕方にまでつながり、副町長の辞任、町長報酬の50%減額という事態に至った。そして、町民の信頼を大きく損なう結果となったことは非常に残念なことである。

収納金の過大過小はヒューマンエラーによるもので、これをなくすことが問題発生の防止になり、特に留意すべきである。また、会計課に限らず、多くの課で公金及び準公金の取り扱いがなされていることから、他課においても「公金取扱マニュアル」に沿って取り

扱われることを望むものである。マニュアルで担当職員の賠償責任をうたっているが、同時に、手当などの対応も必要と思慮される。

また、事務処理の進め方についても、再度目的や処理の仕方の確認を行い、正確な諸帳票や議会資料などの作成に従事されたい。

なお、常態化や形骸化の要因も多々見られることから、P「plan」D「do」C「check」A「action」サイクルの実践を行うことも必要と思われる。

事件の真相は未だ特定されておらず、職員間で不信感を抱いたままの業務執行は、少なからず住民にも影響を及ぼし、町にとって大きな損失になり得る。早期の事件解決を望むものであるが、二度と起こしてはならない事件でもあり、何よりも大切なのは、確固たる倫理観の下にいち早く職員間の信頼関係を取り戻し、業務に専念することが住民の信頼につながるものと信じる。

公金紛失に関しての町の対応策など

平成30年

10月…事案の検証及び再発防止策を検討する、涌谷町公金紛失に関する再発防止策検討委員会を設置。

12月…再発防止策検討委員会が調査結果を「公金紛失に関する再発防止対策について」にまとめる。



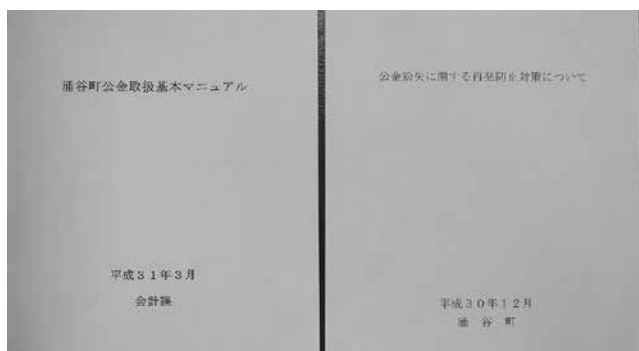
平成31年

1月…防犯カメラを役場会計課などに設置。

…班長職以上を対象に、外部講師による危機管理研修を実施。

4月…「涌谷町公金取扱基本マニュアル」の運用を開始。

…職員倫理規程を制定。



対策やマニュアルに沿った事務処理を



新たに設置された防犯カメラ

企業は施設の公害対策と環境改善に努力 陳情の願意は一定程度満たす

陳情書の趣旨

株式会社ウエルファム
フーズ涌谷農場の第三農
場（鶏舎）建設工事に反
対する。

地域住民は既存の小規
模農場からでさえ公害被
害を被っており、さらに
大規模な施設の建設は認
められない。

地区住民の同意のない
まま計画を進めれば、近
隣の環境や住民に著しい
影響を与え、ともに、
孫子の代まで及ぶ対峙の
火種となる。

企業に対し、建設計画
への反対と撤回の申し入
れを行うよう陳情する。

委員会意見

地域住民が長年にわた
り、悪臭や羽毛の害に悩
まされ続けてきたことは
理解できる。

建設用地は既に宮城県
の建設許可がなされて
おり、企業は既存施設の
公害対策と環境改善に努
めている。建設予定の新
施設についても、極力環
境に配慮された施設とさ
れている。



同様の施設を視察調査し、周辺への影響などを確認

しかしながら、住民の
心配は推察できることか
ら、企業は「住民の理
解を得られるまでは、建
設計画を進めることはな
い。」と断言している。

これらのことから、建
設の中止を求める陳情の
願意は一定程度満たされ
ており、改めて採択する
必要はないものとみなし、
不採択とする。

皆さんの請願・陳情

平成31年陳情第4号

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の
沖縄県外・国外移転について、国民的議論によ
り、民主主義及び憲法に基づき公正に解決する
べきとする意見書の採択を求める陳情

陳情者

「新しい提案」実行委員会 安里 長従

審査の結果 配布

令和元年陳情第6号

「日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住
民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求め
る陳情書

陳情者

一般財団法人日本沖縄政策研究フォーラム
理事長 中村 覚

審査の結果 配布

令和元年陳情第5号

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の
沖縄県外・国外移転について、国民的議論によ
り、民主主義及び憲法に基づき公正に解決する
べきとする意見書の採択を求める陳情

陳情者

全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之

審査の結果 配布

令和元年陳情第7号

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見
書に関する陳情

陳情者

宜野湾市民の安全な生活を守る会
会長 平安座 唯雄

審査の結果 配布

5月会議

5月30日に5月会議を開催し、5月26日の議員補欠選挙で当選した伊藤雅一議員（協区）の議席の指定、常任委員の選任を行いました。
伊藤議員は総務産業建設常任委員会委員、広報広聴常任委員会広聴分科会委員となりました。



伊藤雅一議員

涌谷町議会委員会構成

令和元年5月末現在の議会の委員会構成を改めてお知らせします。

議長 大泉 治

副議長 鈴木 英雅

議会運営委員会

議会を円滑に、効率的に運営

委員長 大友 啓一
副委員長 久 勉
委員 門田 善則
杉浦 謙一
稲葉 定

総務産業建設常任委員会

担当課 総務課、建設課、
農林振興課 など

委員長 門田 善則
副委員長 後藤 洋一
委員 鈴木 英雅
伊藤 雅一
稲葉 定
佐々木敏雄

教育厚生常任委員会

担当課 教育委員会部門、
病院部門、上下水道課 など

委員長 久 勉
副委員長 杉浦 謙一
委員 只野 順
大友 啓一
佐々木みさ子
竹中 弘光

広報広聴常任委員会

委員長 大友 啓一
副委員長 只野 順
委員 議長を除く全議員

広報分科会 議会だよりの編集・発行

広聴分科会 議会懇談会の実施



3段目左から 11番・門田善則 12番・鈴木英雅 13番・大泉 治
2段目左から 5番・大友啓一 6番・只野 順 7番・後藤洋一 8番・伊藤雅一 9番・久 勉 10番・杉浦謙一
手前 左から 1番・竹中弘光 2番・佐々木敏雄 3番・佐々木みさ子 4番・稲葉 定

議会に皆さんのご意見をお寄せください。

キラキラ Voice

vol.9



渋谷 直哉さん
(9の3区)

Q あなたのことを教えてください。

A 震災を機に、夫婦で専業農家になりました。水田を主とした農業をしています。

今年の三月に法人を立ち上げたことで、今まで以上に責任とやりがいを感じ、担い手として、預けていただいた方々の農地を守っていききたいという思いで日々努力しています。

Q 議会についてどうお考えですか。

A 今、涌谷町ではさまざま問題が山積し、大変な時期だとは思いますが、全国的に問題となっている農業の担い手に対しても、策を講じていただきたいと思います。

Q 涌谷町をどうお考えですか。

A 先人たちが残してくれた涌谷町の美しい田園風景を、次の世代に受け継いでもらえるように、微力ながらできることを頑張っていきたいと思っています。

議会から

農作業の大変お忙しいところ、ご意見をいただきありがとうございます。

町の基幹産業である農業の担い手として貴重な人材であり、議会としても頼もしく思います。農家の高齢化、後継者不足は全国的な課題ですが、涌谷の農業を守っていきけるよう、我々も側面から支援していきたいと考えています。これからも、涌谷町の農業に大いに貢献していただくことを期待しています。

議会を傍聴

しませんか

今回の定例会は

9月下旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、町ホームページでお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 43-21127

一般質問を動画配信しています。



当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。

編集ろまん

わこや

だより

元号が平成から令和に変わり、慌ただしく月日が経過していく。

令和になって最初の選挙があり、前町長の遺志を引き継いだ新町長が当選した。

大変な状況の下、大量の仕事をこなし行政運営に当たっている。「活力ある涌谷の復活を」との強い思いで休日を返上し奮闘している。

我々も立場が違うものの、同じ思いで気合いを入れ、「活力ある涌谷の復活」を切望し行動していく。町民の皆様のご理解を得ながら。

(鈴木 英雅)

編集 広報広聴常任委員会広報分科会

分科会長 只野 順

副分科会長 竹中 弘光

委員 鈴木 英雅

委員 稲葉 定

委員 佐々木 みさ子

委員 佐々木 敏雄